

園芸家・室谷優二さんと訪ねる森林住宅地

別府湾に抱かれた緑の沃野

季節の巡りに合わせてゆっくり、豊かな自然と共に自分らしく暮らしたい。大和ハウス工業では、そんな人のためのライフステージ「森林住宅地」を全国14カ所で展開しています。今回はその中から大分県杵築市の海辺で暮らす垣迫隆一さん・二代子さんご夫妻を訪ねました。

撮影：小滝渡郎



自分の海岸は、分譲地の住人たちがプライベートビーチのように保護していて、早春のワカメ拾いや夏の潮干狩りと遊びも楽しい。空港から約30分(約22km)の距離なので、遠方に嫁いだお嬢さんも夏は子連れで海水浴に訪れます。



趣味の多い隆一さんは、船舶作りもその一つ。設計図をおこし、材を得る段階から始めて、この出来栄です。

手作りしたレンガ敷きのテラスで模型に熱中する隆一さん。海辺からの爽やかな風を受けて、気分は外洋の船長でしょうか。



緑豊かな分譲地の里山から望む美しい海岸線。別府湾内にあり、北西が山で遮られているので、涼も静かです。サバやアジ、カレイなどで有名な豊かな漁場を控え、瀬戸内性の気候で台風や雨が少なく、適度。

穏やかな海辺での暮らしは、
助走期間を経て、いよいよ充実。

大分市内で共働きをしながらマンション暮らしをしていた垣迫さん夫妻は、お嬢さんの結婚を期に、5年後に迎える定年後の夫婦ふたりの暮らしを考え始めました。「野菜を自分で育てたい」、「好きな花を庭で咲かせたい」――土に根ざす暮らしが最も切実な望みだったことに思い至った時、まずは野菜づくりからと、自宅から車で1時間というここ杵築に貸し農園を確保。海に近い里山、おまけに温泉付きという環境がすっかり気に入った夫妻は、なんと6カ月後には農園に近い間坪の土地に住宅を新築してしまいました。以後は毎週金曜の夜に来て、月曜の朝には揃って出勤という別荘暮らしがスタート。「体力に自信があるうちに、生活基盤を整えたかったんです」。



隆一さんが出逢米コソコソ作業して、レンガをベースにした庭デザインが完成しました。残した植栽スペースには、紫のユフシギクや白い葉も美しいガザニアが咲いて、レンガの赤と芝生のグリーンに色を添えています。カーブを描いた小道の先はウッドデッキの始まりです。



海方向に向かって立つ堤防。住宅前左手には通廊で取り寄せたアバラが絡まり、芝生への入口になっています。正面の樹木はエゴ



室谷 優二さんの庭指南

ご主人が敷かれたレンガで作られたデッキに合わせて、奥さんが植物を植えて作られた庭。これはガーデニングを楽しむ一つの理想型がもしもあれば、海に面した特長は、冬が温暖だけでなく夏も比較的涼しくて、敷地内を歩いていると、道路沿いの至る所でガザニアやランタナなどの花たちを見ることができ、そのまま庭へとたくましく広がっている風景も珍しくありません。そんな一般の住宅地では見かけない雰囲気を楽しむことができるのも、森林住宅地ならではのこともありません。

室谷さんのお庭で、まず真っ先に目につくのは、カラフルに咲き誇る花たちではなく、異様に枯れ上がった庭木の姿です。これは、9月に九州を襲った台風の影響の一つで、強い潮風によって塩害を受けたためです。海に近い住宅地では避けて通れない問題で、時には海から1kmほど離れた住宅の庭木が、川を遡ってきた潮風によって塩害を受けることも珍しくありません。台風の場合には大雨を伴うので、葉についた塩分がすぐ流れてしまい、葉を落としても新芽が出てくるのですが、強い潮風に襲われた場合には、できるだけ早く葉に水をかけて塩分を洗い流すようにすると、被害の拡大を防ぐことができます。さらに、ガザニアのように塩害に強い植物も多いので、被害をよく受ける場合には植物選びにも工夫が必要です。

す。隆一さんに選ばれること一年半。暮れて定年を迎えたばかりの三代子さんは、これからは、庭を聞きながら過ごすのも悪いのまです。浜辺で拾う二ナは、温泉で庭仕事の汗を流したあとのビールに、ホント、絶品！。近くの岩場や漁港の堤防でおもしろいように釣れるゼンゴ（子アジ）の両面漬けも、大分市内の友人たちを喜ばせるため、つい作り過ぎてしまうのだとか。

レンガと芝生の対比が美しい庭は、毎週末に、隆一さん主導でこつこつ作っていました。付近でも盛大に広がっているガザニアのように、丈夫で庭デザインに効果的な草花をもっと増やそうとするなど、今では計画にも余裕が出てきました。

でも「都会も嫌いじゃないんです」と、隆一さん。マンションを基地にした市内ならではの利便性も残しながら、いよいよ本拠をここの軒先に移した暮らしが始まります。

海と里からの恵みを、ダイナミックに楽しむ暮らし



ゆるな海風を受けて、午後のひとときを分譲地内のお仲間と。菜園で採れたサツマイモを使ったホカホカの「餅」を一緒に、というわけです。石垣餅はこの地方に古くから伝わるおやつで、三代子さんは手軽なホットケーキミックスを使ってアレンジしています。晴れた日には、眼前に広がる豊後水道の水平線に四国の佐田岬が見えることも。まるでプライベートビーチのリゾート気分です。



菜園では、この秋もサツマイモが収穫です。豊後川のムラサキイモとベニコガネが好みだとか。チンゲンサイやグイコブ、ミズナなども育てています。菜園は住まいから車で10分ほどの距離で、約40坪を年間1万7千円借りています。数えたり数えられりの「収穫量」も増え、最近ではプロからも褒められたとほめてもらえるように。一角にはコスモスが咲いて、秋もたけなわです。

大和ハウス工業株式会社

本社：大阪市北区梅田3-3-5 スローナ倶楽部事務局

問い合わせ：☎06(6342)1968 FAX.06(6342)1593

<http://www.e-shinrin.net/>

「スローナ倶楽部」では、ただ今会員募集中です。スロー＆ナチュラルライフをお考えの方に、情報誌「Slower」(年6回発行)や各種パンフレットをプレゼントします。入会金・会費は無料です。

祖先の記憶で出逢った場所を、10年先のコレクション。毎朝、毎日の暮らしを紡ぐのが楽しみです。ここならではの海の幸、山の幸を大目に採り合わせ、都会の友人たちをもてなす時間もこれからはたっぷり。

